

令和5年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立熊野高等学校	校長	坂本 伸宏	生徒指導主事	柿菌 昌美
取組事例名	『体育祭』				

1 取組の設定	
取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
全校生徒が練習を積み重ね協力して取り組む体育的行事として実施する。規律ある集団行動や安全な行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などを旨とする。	いやなことや辛いことにも、前向きに頑張る生徒。周りにも声掛けなどを行って、ともに頑張れる生徒。



2 展開	
取組の具体的内容	取組の創意工夫
<p>9月30日(土)に体育祭を設定し、そこに向け、2学期から体育の授業で準備を始めた。特に1年生男子の演技「集団行動」では、授業だけでなく、生徒自ら昼休憩や放課後も自主練習を重ねた。「筆踊り」は地域の方を招いて踊りを教わった。</p> <p>2年生の「ダンス」は男女で踊るパフォーマンスをみせた。ダンスの苦手な生徒には、クラスルームに動画を配信し、いつでもイメージできるようにした。また、正面だけでなく背面からの動画も配信した。</p> <p>3年生の「フォークダンス」は、手をつなぐことが苦手な生徒には、同性同士、教員と踊るなど、配慮しながら行った。本番では、アンコールで保護者も参加し、盛り上がった。</p>	<p>生徒にめあてをもたせるためにまずは、動きの揃った集団の美しさを感じさせるために、集団行動や筆踊りのDVDを視聴させた。</p> <p>生徒の意欲を高めるために体育科全員で授業に参加し、「失敗しても笑わない」、「次頑張ろう」と常に声掛けを行い、モチベーションを保ち続けた。</p> <p>生徒の頑張りを認め、価値付けるために来場した保護者の拍手や、声援も評価であると、達成感を持たせた。</p>
	



3 成果と課題
<p>生徒たちが準備、招集、演技、競技、片付け等、500名を超える来場者の中で行い「やればできる」ところをみせた。1年生の「集団行動」「筆踊り」では、「練習で頑張った本番で発揮できたときの達成感を味わうことができた。」「最初は、揃えることの難しさを感じたが、集団で得られるやりがいや学びを学べた」と多くの生徒が感想を述べた。2年生の男女でのダンス、3年生のフォークダンスも楽しくできたこと好評であった。しかし、当日見せた頑張りが、日常の学校生活で発揮しきれていない。今後、「感動」をどのように「行動」につなげていくかが課題である。</p>